

2019年度 初級課題②

ゲーテ「すみれ」

| | |
|---|--|
| <p>Das Veilchen (Johann Wolfgang von Goethe, 1749-1832)</p> | <p>すみれ (ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ)</p> |
| <p>Ein Veilchen auf der Wiese stand, Gebückt in sich und unbekannt; Es war ein herzigs Veilchen. Da kam eine junge Schäferin Mit leichtem Schritt und munterm Sinn Daher, daher, Die Wiese her, und sang.</p> | <p>草原にすみれが一輪、人知れず、 恥ずかしそうに身を屈めて、咲いていた。 心のやさしいすみれであった。 そこへ若い羊飼いの娘が、陽気に、 弾むような足取りで、草原を こちらへとやって来て、 歌った。</p> |
| <p>Ach! denkt das Veilchen, wär' ich nur Die schönste Blume der Natur, Ach, nur ein kleines Weilchen, Bis mich das Liebchen abgepflückt Und an dem Busen matt gedrückt! Ach nur, ach nur Ein Viertelstündchen lang!</p> | <p>すみれは考えた。ああ、ぼくが、 自然界のいちばん美しい花だったら。 ああ、ほんのひととき、 この娘がぼくを摘みとって 胸にしっかり押しつけてくれるまで ほんの、 ほんの十五分だけでも！</p> |
| <p>Ach! aber ach! das Mädchen kam Und nicht in acht das Veilchen nahm; Ertrat das arme Veilchen. Es sank und starb und freut' sich noch: Und sterb' ich denn, so sterb' ich doch Durch sie, durch sie, Zu ihren Füßen doch.</p> | <p>ああ、ところが、娘はやって来たが、 すみれには気付かずに、 可哀相なすみれを踏んづけてしまった。 すみれは倒れ、命を落とし、それでも嬉しかった。 死ぬとはいっても、ぼくは 彼女のために、彼女のために、死ぬのだから、 彼女の足許に死ぬのだから！</p> |